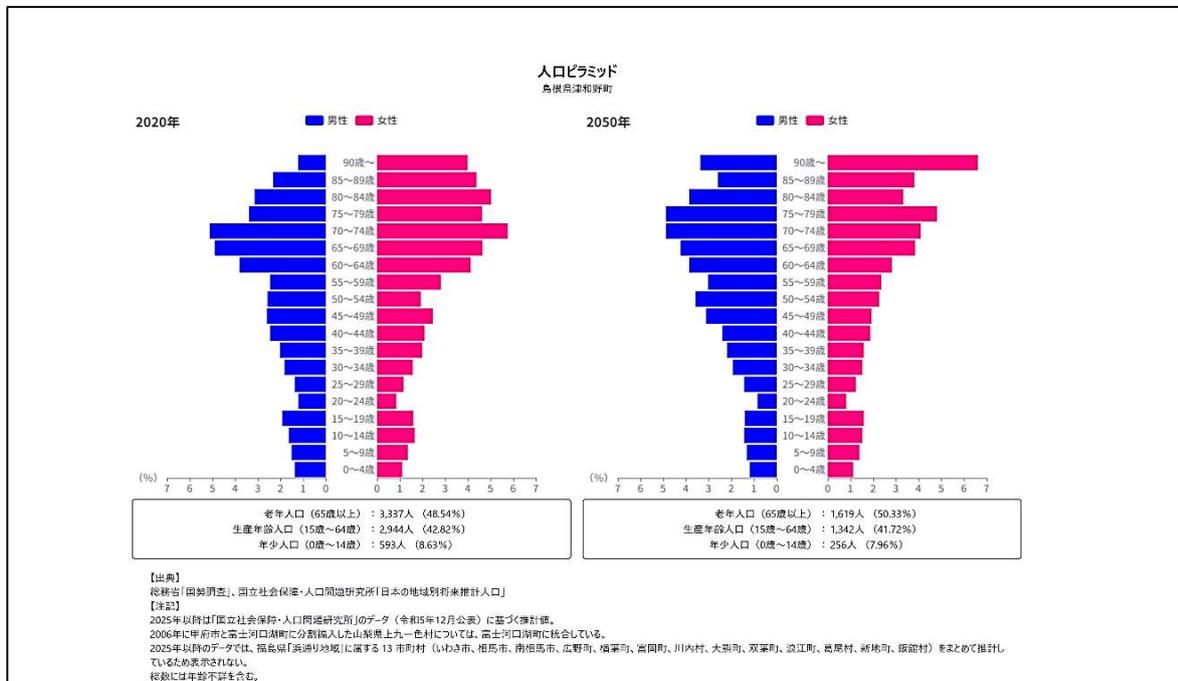


## ■データで見る津和野町の未来：2050年の人口ピラミッドから考える経営戦略

私たちのビジネスの基盤となる「地域の人口動態」について取り上げます。

掲載している図は、2020年（実績）と2050年（推計）の人口ピラミッドを比較したものです。



グラフを見比べると、30年後には形が大きく変わることが予測されています。特に注目すべきポイントは以下の2点です。

【働き手の減少】グラフの中央部分にあたる「生産年齢人口（15～64歳）」の幅が大きく狭まっており、深刻な人手不足が予測されます。

【顧客層の変化】グラフの上部、特に「85歳以上」の層が大きくせり出しており、地域における主な消費者層が超高齢者層へとシフトしていくことがわかります。

### 【これからに向けて、今できること】

このデータは、商圏の縮小や採用難といった厳しい現実を示していますが、悲観するためではなく、「将来のシナリオ」を今から描き、先手を打つための重要なヒントです。環境の変化に合わせて、以下のような視点で自社のビジネスを見直してみてもいかがでしょうか。

【ターゲットの見直し】シニア層の生活支援など、変化するニーズへの対応

【商圏の拡大】EC活用や観光・関係人口の取り込みによる町外への販路開拓

【省力化の推進】IT・デジタル導入による、少ない人数でも回る仕組みづくり